

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・観光客数は例年並みだが、リピーター率は7割以上と、高くなる見込みである。リピーターの金の使い方は昨年から大きく変わり、工芸品等の販売量が減少している。今後は「体験」をテーマにリピーター対策商材を開発すれば売上アップが見込める。
		コンビニ（経営者）	・近くにホテルが開店したので、景気は良くなっていく。沖縄への観光客も増えているので、飲物やつまみが売れるようになる。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・観光の出足も良い。団塊の世代の余暇活動に期待している。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・観光客の先行予約が例年より少し増えているのと、ノンアルコール飲料の販売や料理をメインに据えるなどの飲酒運転取締り強化に対応できてきたので、例年並みは見込める。
		観光型ホテル（総支配人）	・先行予約が前年比115%と好調である。
	変わらない	一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	・ショッピングセンターや大型店はそこそこだが、やはり商店街等は相変わらず厳しい状況が続いている。全体的に景気が上向きだという判断はなかなかできない。
		スーパー（経営者）	・単価はほぼ前年並みの状況で、来客数は伸びてきている。今後チラシ販促の状況にもよるが、このような状況が続く。
		コンビニ（エリア担当）	・消費動向の上昇は無いと判断する。個人向けの優遇税制等が無い限り無駄な物は買わずに、消費より貯蓄へ回る。
		コンビニ（エリア担当）	・競合店や異業態の出店も続き、来客数減少の傾向はしばらく続く。客の流れが変わるだけで個店の来客数増加にはならず購買力もそう変わらない。古い店舗は新道の開通に伴う交通量の減少などでますます状況が悪くなる店もある。
		衣料品専門店（経営者）	・2～3か月前と同様、あまり変化がみえない。新年からの売上も前年と比べてみても変化があまり無い。
		高級レストラン（営業担当）	・2月、3月は一般団体客がにぎわいを見せ、当店にとっても繁盛する時期だが年々団体客全体の落ち込みが激しく、今年もその影響は大きく変わらない。
		観光型ホテル（商品企画担当） 観光名所（職員）	・3月から4月にかけて、前年並みの販売状況である。 ・1月の沖縄への入域観光客は前年同月を大幅に上回っているものと推測される。1月から4月まで県内全域で花祭りが開催され、暖かい沖縄が全国に発信されるので沖縄への入域観光客は順調に推移する。
	やや悪くなる	百貨店（担当者）	・天候による影響は依然として強い。また衣料品の商品情報によると春物の商品上がりが生産地の春節にあたり、出荷体制に混乱が出ているとの情報があることから、2月初旬から3月初旬までは何らかの影響が出る。
		観光型ホテル（営業担当）	・卒業旅行の動きが悪くないとの分析があるが、まだ予約状況に反映していない。
	悪くなる	商店街（代表者）	・観光客は訪れるが、売上にはなかなか結び付かない。郊外の大型店でも販売されているような一般の商品は売上に結び付かないというのが現状である。一見集客数はあるものの、観光土産店も多くなって客割れを起こしている状況である。
ゴルフ場（経営者）		・ますます単価は下落するので悪くなる。来客数を増やして数で勝負するしかない。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	輸送業（営業・運営担当）	・現時点で取引量の増加、燃料費の価格下落と、環境的には良くなっている。
		広告代理店（営業担当）	・県内企業の設備投資が幾らか落ち着き、広告宣伝関連の販促経費へ投資科目が段階的にシフトし始めている感がある。ここしばらくの間、一般消費者の個人消費が堅調に推移していることから、企業の攻めに関する意識も高まると期待している。ただ、昨今の賞味期限切れ食材使用問題がマスコミ報道で大量に露見するなか、食品メーカーを中心とする企業が、改めてコンプライアンスを見直す等の動きもあるため、予断を許さない状況にもある。
	変わらない	建設業（経営者） 通信業（営業担当）	・引き合いはあるが、契約に至るまでの時間が長い。 ・大型案件に動きがあり、回線の増加が期待されるが、売上増加への連動にはなお時間が掛かる。

		会計事務所（所長）	・倉庫業者については国内の配送売上の伸びが低迷している。今後も物流量が増加する見込みが無い。
	やや悪くなる	食料品生産業（管理部門）	・円安や更なる金利上昇が影響する。また、原料肉類や副資材類が高値のまま推移している。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・派遣依頼が増加すると同時に、就職希望の人材も動き出してきている。スタッフ募集に対する反応も良くなり、以前より少しマッチングしやすくなった分、売上が期待される。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・人事異動や春の入社などもあり、求人に絡む活発な動きは例年と同じである。県外の工場系従業員他、県外都心部の人材難を起こしている企業が人材を求め、沖縄への働きかけがより活発になってくる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・学生の就職活動に限って言えば、企業の採用枠は増加傾向を維持している。企業の業績が良いのか団塊の世代退職に伴う採用枠の増加なのか一概には言えないものの、求人数の増加は景気上向きの判断材料になる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人企業を回ると、原油価格の安定と売上が伸びたことによって、ネガティブな要因が払しょくされつつあり、楽観的かつ攻めの採用をしたいという意見が目立つ。
変わらない			
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-